

【様式①】令和4年度 学校評価書(幼稚園)

園名 岐阜市立岐阜東幼稚園

園長名 藤井 佐由美

市の重点課題	園の重点項目	自己評価	達成状況	改善の方向
全職員の共通理解・共通行動による指導体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長のリーダーシップのもと、教頭・主任が中核となり、全職員が参画するとともに、各担任が幼児理解に努め意図性を発揮することにより、保育の充実を図る。</li> <li>5年目を迎えるコミ・スクの組織を活用し、地域力を生かした行事の工夫を図り教育活動の啓発を行う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の発達や興味関心に応じて、育てたい力や経験してほしいことをふまえて保育したり、その都度実践を振り返り意見を交わしながら、次の保育を考えることができた。</li> <li>各学年の探究心を高めるために、環境を再構成しながら、保育することができた。また、異年齢で刺激を合いながら保育する中で、職員全員で環境構成を豊かにすることにより、子どもの創造性が高まった。</li> <li>地域との繋がりを大切にしながら、行事を進めることができた。</li> <li>地域力を活かした教育活動を計画的に実施することにより、様々な経験ができ、子ども達が地域に見守れている安心感のもと、親しみをもって関わる姿が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、子どもたちの豊かな保育活動につながるように、活動のねらいや内容を明確化し、計画的に進めていく。</li> <li>更に、コミ・スク活動を活用して、開かれた幼稚園としての教育活動の啓発に努め、地域の方に理解を促せるような工夫をする。</li> </ul>
創意ある教育課程の編成と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心がときめく瞬間(とき)に寄り添う教育を推進し、知的好奇心や探求心を育むための環境構成や援助のあり方を明確にする。</li> <li>園全体の協力体制のもと、一人ひとりが充実感をもって過ごし自己発揮し、自分や仲間よさを認め合う関係作りや身近にいる生き物の命を大切にすることを育てることを努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心のときめきに対して、教師も心を動かし、共に遊びを創り出していくことができた。タブレットを活用することで子どもの探究心が深まった。</li> <li>ドキュメンテーション方式での研究会で、心が動いている瞬間の読み取りや、テーマを絞った話し合いで意見を交わし合う中で、「次に何をすればよいか」翌日の保育に繋がった。</li> <li>個別の支援計画の作成により、支援内容が整理され、保育に生かすことができた。支援を必要とする子どもたちの理解を深めることで、得意な場面で、力を発揮できる機会を作ることができた。</li> <li>身近にいる生物に興味関心をもち、触れたり関わったりする中で命の大切さを学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメンテーションに子どもの育ちを記録していくことを意識し、付箋やボードを活用しながら、子どもの発達や育ちについて、説明する力や各自の考えを明確に伝えたり、討議を深めたりする力を高めていく。</li> <li>一人一人の子どもの幼児理解を深め、その子ならではの具体的な支援を考え実践につなげていく力を高める。</li> <li>身近な生き物との出会いや別れなどを経験する中で、命を大切に扱う気持ちを育てていく。</li> </ul>
信頼に応える開かれた幼稚園づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育方針や子どもの育ちを保護者・地域への積極的な情報発信に努める。</li> <li>園の教育活動について、教職員や保護者、学校運営協議会などによる学校評価を実施、公表し幼稚園経営の改善に生かす。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページで園での子どもたちの姿を配信していくことが出来た。また、YoutubeやFacebookなどのSNS及びメディアなどを利用して、広く岐阜東幼稚園の教育を広めることができた。</li> <li>保護者からの意見などは、すぐに職員全体で共有し、スピード感をもって対応することができた。</li> <li>PTAの役員、執行委員会や学級懇談会、学校運営協議会などで、園の様子を写真などを活用しプレゼンテーションすることで、わかりやすく発信することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、プレゼンテーションやホームページ、YouTubeなどのSNS及びメディアなどを利用し、見やすく分かりやすく幼稚園の教育方針や大切にしていることを情報発信し、保護者や地域への啓発に努める。</li> <li>保護者からの相談や意見を傾聴すると共に、各自が組織の中の役割を意識し、自分の考えを明確にもちながら真摯に対応していくことに努める。</li> </ul>
教育環境と幼稚園財務環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験重視を前提とし、ICTの活用を推進し、子どもの興味関心を深めるツールとしての充実を図ると共に適切な管理を行う。</li> <li>備品、教材購入の際は、目的を明確にし、取扱いが適正であるかを確認する。マニュアルに基づき財務や納入金などの取り扱いを適正に実施する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き物への不思議、感動など、ICTを活用することにより、子どもたちの心が動いたり、自分なりに考えて関わったりする姿を引き出すことができた。遊びの中にタブレットを使用する必然性をもたせることにより、タブレット使用の目的が自分の生活を豊かにするツールであるという認識が芽生えている。</li> <li>タブレットの使用にあたり、養護教諭が視力検査を行ったり、使用時間を意識させるなど、健康面での配慮を行い適切に管理できた。</li> <li>公金であることを常に意識して、必要な物、量、価格を検討して計画的に運用することに努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後もタブレットの活用方法を検討し、専門家の指導を受けられるような研修に参加し活用事例を増やしたり、GIGA開きなどを行い、子ども自身がよりよく活用するためにどうすればよいのか考える機会をもつ。</li> <li>教材等、計画的に無駄のないように使用し、子どもと共に、SDGsを意識したり、物を大切に使用することを継続していく。</li> <li>個人情報について、各自の危機管理意識を高め、ダブルチェックや持ち出しの方法などを徹底していく。</li> </ul>
災害、事故、感染症等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害、事故、感染症、熱中症など様々な事態を想定し、子ども、職員の危機管理の意識を高める。</li> <li>危機管理マニュアルや異常事案リスク回避の個別票などを職員に周知徹底し、意識向上を図るとともに活用しリスクを回避に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前にシミュレーションを行いながら、計画に沿って、訓練を実施できた。子どもたちが、考えて行動できるように問いかけたり、振り返ったりする機会を大切に進めた。</li> <li>安心安全な園生活を送ることができるよう安全点検をしっかりとできた。</li> <li>危険箇所において応急処置をしたり、要望書を提出したりと迅速に対応することができた。</li> <li>子どもが安全に遊べるように職員間で連携し、職員の配置をその都度柔軟に対応できた。日頃より、危機管理意識をもって保育にあたることを徹底する。</li> <li>状況に応じて感染対策を実施し、教育活動を継続することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害や非常事態の際、各自が自分の動きを具体的にシミュレーションしたり、様々な視点からの情報収集に心がけたりしながら、危機管理意識を高める。</li> <li>異常事案リスク回避の個別票の内容や個人情報の適切な取り扱いについて職員に周知徹底する。</li> <li>状況に合わせた感染対策を徹底し、教育活動を円滑に継続的に進めるように感染対策に取り組む。</li> </ul>